

その他 1.29～

大阪府立江之子島文化芸術創造センター 2014年度新プログラム

## enocoのそうだん [eno so done!] 新年1月からの第3期スケジュール公開開始!

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [enocoのそうだん \[eno so done!\] 新年1月からの第3期スケジュール公開開始!](#)



アートや文化を活用した地域活性化、各種事業の広報力アップや組織のブランディングなどに取り組む方々が日々抱える悩みの数々を、各分野の最前線で活躍する経験豊富なアドバイザーたちがマンツーマンでじっくり相談にのるeno so done! 今のやり方に疑問を感じていたり、新規事業の立案を検討している行政マンや地域の方々など、この機会を活用してぜひヒントを見つけて下さい。

※第2期から対象を広げました。大阪府下に限らず、どの地方自治体、NPO、まちづくり組織でも、自由に応募いただけます!

### 開催概要

開催期間：2014年6月～2015年3月、原則月2回開催

会場：大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco) 4階ライブラリー

対象：市区町村、地域団体、NPOなどの職員・スタッフ(地域は問いません)

相談件数・時間：1日あたり2件(1件あたり約90分目安)

相談料：無料

申込方法：相談希望の方は「eno so done!申込」と明記の上、貴団体名・職名・氏名・連絡先電話番号ならびに希望相談日、相談内容について簡潔にまとめた申込書を添付の上、各回の申込締切日までに、下記までメールでお申し込み下さい。

→[申込書\(Word\)](#)

大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco)

電話：06-6441-8050

FAX：06-6441-8151

E-mail：[art@enokojima-art.jp](mailto:art@enokojima-art.jp)

○申込多数の場合は相談内容に関して大阪府と協議の上、参加の可否をご連絡いたします。

○申込みいただいた後、追加の資料提出をお願いする場合があります。

主催：大阪府 + enoco

## [eno so done!] 2014年度第3期開催日程

第11回 1月29日(木) 13:30~16:30

中之島のフリーペーパー『月刊島民』など、地域目線のメディアを発信し続けるユニークな編集会社140B。効果的な広報誌づくりのアドバイスや、地域資源の発掘の方法など、現場に携わる方ならではの具体的なアドバイスが聞けるチャンスです。→<http://140b.jp/>

アドバイザー：中島 淳 (株式会社140B代表取締役)

第12回 2月19日(木) 13:30~16:30

コミュニティデザイナー山崎亮氏が率いるstudio-Lでディレクターを務め、全国のまちづくり現場に携わる経験豊かなアドバイスは、きっと課題解決のヒントになるはず。

アドバイザー：醍醐孝典 (株式会社studio-L ディレクター)

第13回 2月26日(木) 13:30~16:30

「水都大阪」の実現に向けた官民協働を担い、パブリックスペースの使いこなしを通じて規制緩和を実現していくランドスケープ・デザイナー。

アドバイザー：忽那 裕樹 (enocoプラットフォーム部門チーフディレクター/E-DESIGN代表)

第14回 3月26日(木) 13:30~16:30

銀行の豊富なネットワークをフル活用して様々な協働事業を成功に導いてきた仕掛け人が、マッチングとマネージメントのコツを伝授します。

アドバイザー：藤原 明 (りそな総合研究所 リーナルビジネス部長)

※3月末までにあと1回開催予定

## アドバイザー プロフィール



中島 淳 (株式会社140B代表取締役)

1958年福岡県生まれ。神戸市外国語大学中退。83年京阪神エルマガジン社に入社し、Lmagazine、SAVVY、Meets Regionalの編集や広告、販売に携わる。2006年、江弘毅氏らと共に編集集団140B設立。08年夏に中之島のミドルマガジン『月刊島民』を、翌年ナカノシマ大学も立ち上げる。09年から出版社としての事業も開始。『アラン・デュカスのひと皿フレンチ』や『おせっかい教育論』『Wao! Yao! 八尾の入り口』などを刊行。



醍醐孝典 (株式会社studio-L ディレクター)

1976年大阪府生まれ。大阪府立大学大学院修了。兵庫県、(財)京都市景観・まちづくりセンター等を経て2006年よりstudio-Lに参画。全国で地域まちづくり支援やコミュニティデザインに携わる。大阪では水都大阪2009「灯りプログラム」のディレクションなどを担当。東北芸術工科大学非常勤講師、総務省地域創造力アドバイザー。共著書に、『まちづくりコーディネーター』(学芸出版社)、『地域を変えるデザイン』(英治出版)など。



忽那 裕樹 (enocoプラットフォーム部門チーフディレクター/E-DESIGN代表)

1966年大阪府生まれ。庭園をはじめ公園や広場、大学キャンパス、商業・集合住宅・病院などのランドスケープのデザインとプログラムを国内外で展開。また、パークマネージメント、タウンマネージメントを通して、地域の改善や魅力向上に様々な立場で関わっている。enocoのプラットフォーム形成支援事業を手掛けるとともに、民主導の水と光のまちづくり推進組織「水都大阪パートナーズ」のプロデューサーとして数々の事業の企画・運営を推進中。

藤原明 (りそな総合研究所 リーナルビジネス部長)

りそな銀行 営業サポート統括部 (大阪) 地域オフィサー・コーポレートビジネス部 (大阪) アドバイザー、りそなホールディングス グループ戦略部アドバイザー、グループ戦略部オムニチャンネル室アドバイザー。立命館大学経営大学院・デジタルハリウッド大学院・大阪電気通信大学客員教授。大阪市港区長アドバイザー。

天神橋筋商店街定期預金「百天満天百」をきっかけとした繁昌亭チャリティ寄席、オリジナル清酒醸造による商店街活性化、FM802 digmeoutとの



RESONARTキャッシュカード、魔法瓶メーカーとの「マイすいとろ」など多数の協働企画を展開。協働企画は500を超え、有機的ネットワークが広がる「わらしべ長者」的展開が反響を呼んでいる。また、多数のケーススタディをベースに体系化したREENAL式手法を確立。

- [これまでの相談内容はこちら](#)
- [第2期の告知はこちら](#)
- [第1期の告知はこちら](#)

サイトポリシー	> enocoについて	> クリエイティブルーム	> enocoのプロジェクト	ツイート	^
指定管理者	> フロアガイド	> サポーター募集	> enocoの学校		
バナー広告募集	> enocoのつかい方	> メールニュース登録	> 大阪府20世紀コレクション		
プレスリリース	> 空き状況	> Q&A	> ライブラリー		
	> アクセス	> お問い合わせ	> サポーターものづくりルーム		
		> プラットフォーム 形成支援事業			